

<第4議案>

2021年度収支予算(案)

14 ページに 2021 年度収支予算案を示す。

<全体説明>

2021 年度は、常勤スタッフ 2 人体制を維持する予算とした。

1. 会費収入について

20 年度決算(442 万円)をやや上回る額の 480 万円を目標とする。20 年度決算額に比して 38 万円の増額となる。

2. 事業収入・支出について

事業収入は 20 年度決算比約 10 万円の増額を見込む。

- 『ピース・アルマナック 2021』の販売収入は 150 万円、経費 120 万円を見込む。
- 「情報サービス・調査受託」収入として、20 年度決算とほぼ同じ 150 万円を見込む。

事業支出は、20 年度決算比、約 73 万円の減額を見込む。

- 『アルマナック』経費は印刷代とする。
- 協力研究員の経費は 45 万円を見込む。
- 海外派遣経費は、8 月の 20 年 N P T 再検討会議(ニューヨーク)への計 40 万円を見込む。
- 「事業委託費」は、米軍関連の調査謝金(年約 20 万円)に当てる。
- 「事務委託費」として会計業務に 40 万円を当てる。

3. 寄付金収入について

一般寄付金は夏季、冬季を含めて 60 万円を目標に設定する。海外派遣費用に充当するための海外派遣寄付金は 30 万円を見込む。

4. 助成金収入について

各種助成団体への申請、「よこはま夢ファンド」への助成金申請(財源は同ファンドへの市民からの寄付金)によって 300 万円を確保することを目指す。またアユス仏教国際協力ネットワークの「N G O 組織強化支援事業」として 120 万円の支援金を受けることを申請している。計 420 万円を見込む。

5. 管理費について

- 常勤スタッフ 2 人体制として、「給料・手当」、「法定福利費」、「福利厚生費」などの所要額を見込む。
- その他費用は 20 年度決算額を基準とし、所要の調整のうえ積算した。

6. 次世代基金について

- 「米軍情報管理」臨時雇用費、及び「脱軍備・平和基礎講座」費用を予算化した。

ー以上